



内容目次

- ・ 大腿骨頭壊死症について
- ・ 外来診療表
- ・ 100人目の赤ちゃん誕生
- ・ お知らせ

大腿骨頭壊死症について

大腿骨頭壊死症(だいたいこっとうえししょう)という病気をご存じですか?あまり一般的な名前ではないかもしれませんが、以前ご紹介した変形性股関節症と同様に股関節の疼痛をきたす疾患です。

大腿骨頭壊死症はその名の通り、大腿骨頭(大腿骨の先端で股関節を形成する部分)が壊死する病気です。壊死した部分の骨はもろくなり、体重を支えることができずに潰れて(圧潰といいます)変形します。変形性股関節症が時間をかけて進行し、症状が徐々に進行するのに対して、大腿骨頭壊死症の症状は圧潰後に突然出現します。

大腿骨頭壊死症の手術治療には大きく分けて2種類あります。1つは壊死した部分に体重がかからないようにするために大腿骨頭を回転させてあげる手術(大腿骨骨きり術)です。この手術は自分の関節を残せるというメリットがありますが、リハビリテーションに時間がかかるため入院が長期間に及ぶというデメリットがあります。(続く)

(続き) もう1つは人工股関節置換術です。自分の関節は取り除いてしましますが、リハビリテーションの期間が短く早期に社会復帰ができるというメリットがあります。どちらの手術法を選択するかは患者さん自身のことだけではなく、患者さんを取り巻く環境なども含めて総合的に判断する必要があります。

大腿骨頭壊死症は厚生労働省により難治性疾患に定められており、全国にある多くの施設で研究されています。その結果、大腿骨頭壊死症の発生には、副腎皮質ステロイドという薬剤の大量投与や、アルコールの過剰摂取が関連していることが明らかにされました。また副腎皮質ステロイド、アルコールなどの原因がない、“特発性”の大腿骨頭壊死症も存在することが知られています。

大腿骨頭壊死症には症状がない時期があります。無症状な大腿骨頭壊死症でもMRIなどの検査で見ることができますので不安がある方は、木曜日の整形外科新患外来を(事前に休診日をご確認の上)受診してください。

整形外科 重村知徳

100人目の赤ちゃん誕生



産婦人科が再開してから、100人目の赤ちゃんが誕生しました。(H24年11月)

お陰様で、徐々に当院でのお産を希望して下さる方が増え、元気いっばいの産声が病棟に響いています。

充実したマタニティライフが送れ、安心して出産が迎えられるよう、マタニティクラス・マタニティヨーガの出産準備クラスを開催しています。また、わが子誕生の喜びを一緒に分かち合えるよう、夫立ち会い出産(ご希望の方)も、行っています。

スタッフ一同、新生児蘇生法を取得し、より安全なお産の対応が出来るよう体制を整えています。皆さまと、そして元気な赤ちゃんにお会いできることを心よりお待ちしております。



2病棟スタッフ一同

お知らせ

1. 休診、変更について (1/31現在)

2月12日 (火)	内科	田村医師休診
2月12日 (火)	和漢診療	地野医師休診
2月14日 (木)	泌尿器科	巢山医師休診
2月14日 (木)	内科	木村医師休診
2月15日 (金)	内科	木村医師休診
2月15日 (金)	内科	田村医師休診
2月19日 (火)	内科	田村医師休診
2月21日 (木)	内科	碓井医師休診
2月22日 (金)	整形外科	重村医師休診
2月22日 (金)	内科	田村医師休診

(休診等の情報は、北棟1階の掲示板をご覧ください)

2. 救急外来について

救急外来で診察を希望される方は、直接来院される前に、必ずお電話で診察が受けられるかご確認下さい。

入院中の患者様の診察など他の業務により、お断りする場合やしばらくお待ち頂く場合もありますので、予めご了承下さい。

ご協力とご理解をお願い致します。

なお、当日の精算は出来ません。救急外来受付・会計にて一時預かり金をしています。

お問い合わせ先

地方独立行政法人

さんむ医療センター 地域医療連携室

住所：〒289-1326千葉県山武市成東167番地

TEL：0475 (82) 2521 FAX：0475 (82) 3354